

セグメント別業績ハイライト

オートオークション

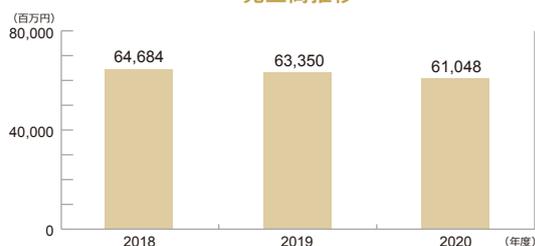
- 出品台数は266.1万台(前期比9.0%減)、成約台数は168.0万台(前期比5.2%減)、成約率は63.2%(前期実績60.6%)。
- 取扱台数の減少によりオークション手数料が減少するも、低額車コーナーの買取保証や人件費の減少などにより営業利益は前期を上回る。

オートオークションのセグメント通期業績(累計)

(単位:百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前期比
売上高	64,684	63,350	61,048	3.6%減
出品手数料	15,269	15,047	14,151	6.0%減
成約手数料	14,898	14,499	14,088	2.8%減
落札手数料	22,313	21,758	21,573	0.8%減
その他	12,203	12,044	11,234	6.7%減
営業利益	36,323	35,436	35,463	0.1%増
営業利益率	55.8%	55.6%	57.7%	-

売上高推移



営業利益推移

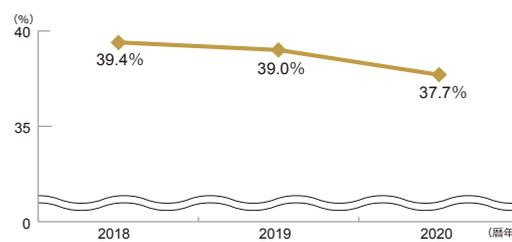


※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

出品・成約台数の推移

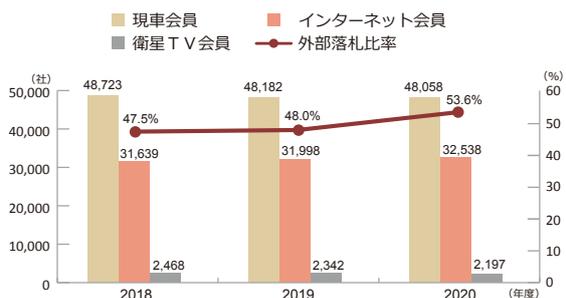


出品台数市場シェアの推移(暦年)



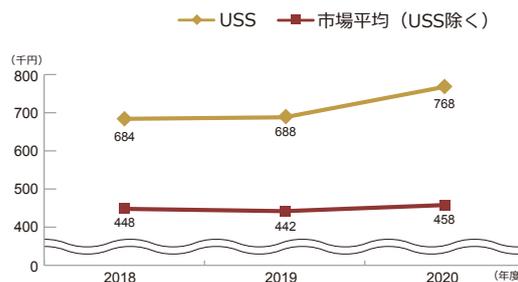
※株式会社ジャパンバイクオークションの実績は含めておりません。

会員数と外部落札比率



※2019年4月より外部落札比率の計算方法を見直しております。

1台当たり成約車両金額の競合比較



中古自動車等買取販売

- 中古車買取専門店「ラビット」は、販売台数が減少するも、2020年5月の緊急事態宣言解除後、好調なオークション相場により台当たり粗利益が増加し減収増益。(売上高4,947百万円(前期比2.2%減)、営業利益142百万円(前期比121.3%増))
- 事故現状車買取販売は、販売台数が減少するも、2020年5月の緊急事態宣言解除後、台当たり粗利益が増加し減収増益。(売上高3,699百万円(前期比8.4%減)、営業利益129百万円(前期比231.2%増))

中古自動車等買取販売のセグメント通期業績(累計)

(単位:百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前期比
売上高	9,701	9,099	8,646	5.0%減
営業利益	116	103	271	162.8%増
営業利益率	1.2%	1.1%	3.1%	-



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

その他

- リサイクルは、取扱量が減少するも鉄スクラップ相場が上昇傾向で推移し減収増益。(売上高4,829百万円(前期比6.4%減)、営業利益376百万円(前期比21.6%増))
- 中古車輸出手続代行サービス事業(※1)は、中古車輸出台数の大幅な減少による受注台数の減少により営業損失。(売上高263百万円(前期比41.5%減)、営業損失29百万円(前期実績:営業利益32百万円)) (※1)2021年3月31日付けで撤退し、事業会社は清算会社に移行しています。

その他のセグメント通期業績(累計)

(単位:百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	前期比
売上高	5,522	5,692	5,180	9.0%減
営業利益	583	369	400	8.4%増
営業利益率	10.5%	6.4%	7.7%	-



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。